

研究・調査報告書

分類番号		報告書番号	担当
A-132	A-133	23-076	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 三浦克之
題名 (原題/訳)			
Gender differences in alcohol drinking among adolescents: a school-based survey in China 中国における青少年の飲酒習慣の性差：学校を基盤とした調査			
執筆者			
Li L, Liu Y, Chen Z, Ren S, He R, Liang Y, Tan Y, Shao X, Chen S, Kong X, Tang J, Chen X, Liao Y.			
掲載誌			
BMJ Open. 2024 Mar 29;14(3):e080687. doi: 10.1136/bmjopen-2023-080687.			
キーワード		PMID	
中国、 青少年、 薬物乱用		38553083	
要 旨			
<p>背景： 青少年における飲酒は健全な成長に関連するが、中国南西部における青少年の飲酒については十分に調査されていない。本研究は中国四川省に位置する自貢（Zigong）市の小中学生における飲酒者の割合について、特に男女差に焦点を当てて調査することを目的とし、アルコール摂取と人口統計学的要因および家族要因との関連を調べた。</p> <p>方法： 本調査は自貢市からランダムに2つの行政区と1つの県級市を選び、抽出された地域の普通学校132校（小学校および中学校）から合計89,360人の生徒を調査対象とし、横断研究を実施した。飲酒量の評価には、Alcohol Use Disorders Identification Test Consumption（AUDIT-C）を用いて、学校および学年における飲酒者割合の性差を分析した。週に30g以上のアルコールを少なくとも1年間摂取し続けている人を飲酒者、AUDIT-Cの総スコアが男子の場合は5以上、女子の場合は4以上を危険な飲酒者と定義した。さらに、危険な飲酒と関連する要因については、年齢、性、居住地、親の出稼ぎによる留守児童か、家族形態、両親の飲酒習慣を独立変数に含めた多変量ロジスティック回帰分析を用いて解析した。</p> <p>結果： 89,360人の対象者のうち、飲酒者は19.0%で、そのうち2.1%が危険な飲酒者と分類された。男子の方が女子に比べて飲酒者（男：22.1%、女：16.0%）の割合が高く、小学校（5-6年）、中学校（7-9年）、高校（10-12年）の各学校レベルおよび学年間において、有意な性差が観察された。特に、10年生から男子と女子の間で危険飲酒に顕著な違いが見られ（男：4.2%、女：1.3%）、男子の危険な飲酒者の割合が上昇する一方で、女子の割合は減少する傾向が見られた。さらに、対象者の中で年齢が高いこと [調整オッズ比（AOR）1.14；95%信頼区間（CI）=1.12,1.17]、男子 [AOR 1.38；95%CI =1.23,1.52] が危険な飲酒のリスク要因として特定された。一方、留守児童でないこと [AOR 0.9；95%CI=0.82,1.00]、核家族に属していること [AOR 0.61；95%CI=0.55,0.67]、父母が非飲酒者であること [父 AOR 0.82; (0.73 to 0.93)、母 AOR 0.51；95%CI =0.46 ,0.56] が危険な飲酒者に対する保護因子であった。</p> <p>結論： 中国の青少年におけるアルコール飲酒は蔓延しており、一部の者は危険な飲酒者として分類された。この調査結果は、政策立案者や保護者にとって貴重な示唆を提供し、適切な介入や支援戦略を策定する際の指針となり得る。</p>			